

## 総合評価の結果

基本方針	評価（外部要因についても記載）	
<b>【基本方針1】</b> 脱炭素型のまちを目指します	B （指標平均：2）	新型コロナウイルス感染症からの経済の回復等の要因により、エネルギー消費量が増加したことで対前年比と比較し、温室効果ガス排出量が増加することとなった。一方で、2013年度比では減少傾向となっているため、目標である2030年の2013年度比48%削減の目標に向けて、エコハウス設備設置助成金や次世代自動車等購入費助成や事業者等との連携により、域内の再エネ導入・省エネの推進を図りながら温室効果ガスの排出削減に取り組んでいく。 <b>最新の数値である2021年度までの削減実績を元に評価しています。</b>
<b>【基本方針2】</b> 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	A （指標平均：3.3）	目標通り順調に進捗しているが、市民の生物多様性に関する理解は低い状況であるため、今後も生物多様性及びその保全の必要性について、理解する機会を提供し、保全に向けた行動を実行できるよう普及啓発の推進を図る。また、東京都レッドリスト掲載種の市内確認種数10種に関しては、関係機関等に情報提供依頼するなど、広く情報収集に努めていく。
<b>【基本方針3】</b> 循環型のまちを目指します	A （指標平均：3）	今後の経済状況の変動や市民の行動変容に伴いごみの排出量に増減が生じることは考えられるものの、市民へのごみ減量・3R推進の啓発や集団回収の奨励と生ごみ処理機購入補助、民間事業者等との協働による食品ロス削減にかかる取組等を総合的に展開するとともに、最終処分場構成市と連携し埋立処分量ゼロを継続することで、着実に循環型社会の形成に寄与できているものと考えている。
<b>【基本方針4】</b> 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します	A （指標平均：2.5）	水質、大気、騒音・振動の環境基準適合率については、2023年7月の大雨の影響による水質検査の悪化により、参考値を達成することができなかった。引き続き、水質、大気、騒音・振動の測定を行い、環境基準適合率の現状把握を行う。一方、まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合は、2020年度以降毎年増加しており、順調に進捗している。今後も、府中市景観計画及び府中市景観ガイドラインに基づき、事業者等との協議及び指導等をおして良好な景観の形成に努めていく。
<b>【基本方針5】</b> 協働・連携のための環境が整ったまちを目指します	- （指標平均：）	